

鈴木さんの
とある一日に密着！

8:45

勤務開始

9:30

職場を出発し
特集記事のための
取材へ。誌面に掲載する
写真も自分で撮影

11:30

職場に戻る。
取材内容の文字起こし

12:15

昼休み

13:00

特集記事の関係部署と
誌面内容の調整

15:00

誌面のレイアウトなどについてデザイナーと
打ち合わせ

16:00

打ち合わせを踏まえて、
記事の文章や写真について検討

17:15

退勤

鈴木さんのお仕事について、人事委員会事務局のInstagramでも紹介しています！

札幌市職員採用【公式】Instagram



全世帯に配られる
広報誌はこうして
作られているんだね

札幌市の
職員に

聞いてみた！

～ 第1回 広報課広報係のお仕事 ～

市職員が、日々どんなお仕事をしているのか、その一日に密着しながら紹介します。

詳細 広報課 ☎211-2036

広報さっぽろを作る！ 広報課広報係

毎月約110万部を発行し、市内の全世帯に配布する広報さっぽろを作成しています。市政や、市民の皆さんの役に立つ情報を発信するため、日々取材や記事の編集作業を行っています。



【今回お話を聞いたのは】
広報課広報係で働く
すずき
鈴木さん

事務職員として採用され、入庁
10年目、広報係には配属2年目

誌面に間違いがないか、より適切な表現はないかを考える「校正作業」では、先輩後輩にかかわらず、感じたことを指摘し合います。アイデアを出し合ってより良い誌面を作ることには大きなやりがいを感じています。

より良い誌面を
みんなで追求する

広報誌の内容は毎月異なるので、幅広い知識が必要です。インタビューで専門家の方にお伺いした話や、予算や政策などの複雑なテーマを限られた誌面にまとめることは難しい作業ですが、専門用語を言い換えたり、図やグラフを活用したりと、より多くの方に分かりやすく伝わるよう工夫することを心がけています。

市民の皆さんにとって
分かりやすい誌面を

広報部では、市政情報などを
SNSでも発信しています！

ライン



ヒグマ情報や災害情報など、気になる情報がすぐに届きます

X



市のイベントなど、最新の情報が手に入ります

Instagram



市の仕事の裏側やイベント情報などが動画や写真でリアルに伝わります

市民の皆さんから良い誌面だったといううれしい感想をいただく一方、こんな記事を載せてほしいなどさまざまな意見・要望が届きます。皆さんの感想や意見は私たち職員の励みになっています。今後もさまざまな工夫を通じて、毎月読んでいただける誌面作りを追求したいです。

誌面を見た皆さんからの
反応が励みに

オープン・カンパニーで市職員の仕事をのぞいてみませんか？

職場見学などを通じて、市職員の仕事をすることが出来るオープン・カンパニーを開催します。

日時 8/17(月)～21(金)のうちいずれか1日に参加
会場 市役所本庁舎(中央区北1西2)ほか
対象 大学生・大学院生(学年・学部不問)。
各日80人程度
申込 7/17(金)までに右記コードから。抽選

申し込み

